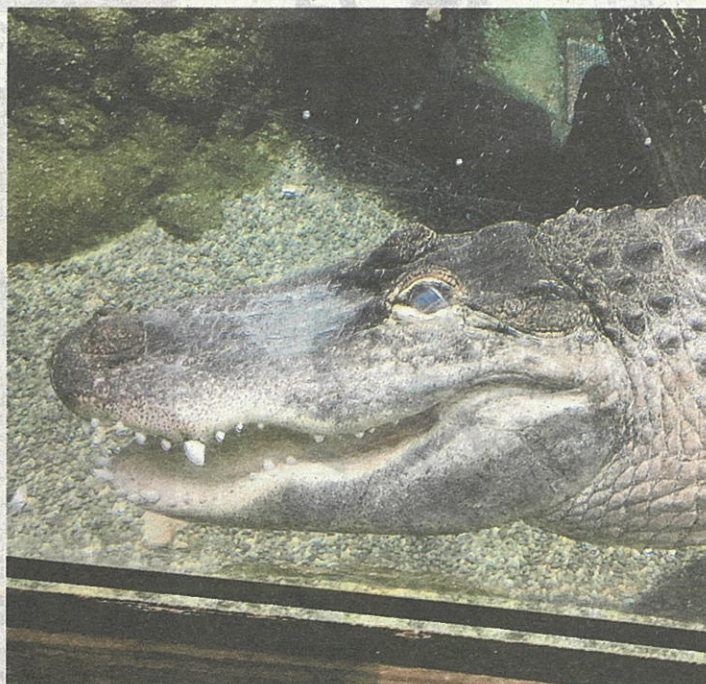


特集

口をとじたワニ (左) と口をあけたワニ (右) =天王寺動物園のミシシッピーワニ



ワニが参考、不都合生じる

「鳥は恐竜だ」
もうほとんど常識になりましたね。
ところが30年くらい前まで、「恐竜」に似た現在の動物といえば、「ワニ」「トカゲ」。特にワニ！ ワニは恐竜にとても近いと研究者をはじめ誰もが認めることなので、復元画などは、何かとワニが参考にされました。

しかし、ワニはとっても特殊なものです。ワニが属している爬虫類グループは、2億年あまり前に、陸上でとても栄えました。しかしやがておとろえ、水陸両生の特異な体に進化したワニだけが生き延びたのです。そんなワニを、恐竜復元の参考にするとどうなっていくかとても楽しみです。

「口を閉じると歯が見えない」想定で描いたタルボサウルスの復元画。ワニと比べてください(絵・門嶋陸)

恐竜の場合は、歯がむき出しだと口の中がかわいてしまします。これでは困ります。最近では、肉食恐竜は唇があって口を閉じれば歯が見えなかったという考えが広がっています。でも口を閉じると歯が見えない肉食恐竜は、なんとなく迫力がないので、絵描きさんによって復元はまちまちのようです。

羽毛発見、色の判明などによって恐竜の復元画も大変化しました。新しいことがわかるたびに変わっていきます。それはより詳しくわかるということ、後戻りするわけではありません。どうなっていくかとても楽しみです。



肉食恐竜 口閉しても歯が見えた?

岡山理科大教授・石垣忍

恐竜調査隊が行く



まめちしき 豆知識

ワニと恐竜はどちらも「主竜類」と呼ばれる仲間です。トカゲやヘビ、クビナガリュウや魚竜などはこのグループに入りません。そういう意味で、ワニと恐竜(鳥も含む)はとても近い親戚です。